

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

グランドデザイン

創業200年にあたる2031年に当社がめざす姿。グループのシームレス化を通じた次世代型SC・海外事業・金融事業を成長の柱として…

総額営業収益
10,550億円

営業利益
575億円

ROE
8.3%

ROIC
5.5%

② 中長期の経営戦略

1. 次世代型SCへの転換

百貨店と専門店の垣根を越え、新たなコンテンツ導入や多様な来店動機創出。玉川高島屋S.C.は2026年1月より段階的改装開始。2031年度に各領域で事業利益100億円規模創出を目指す

2. 海外事業強化

ベトナム開発を重点投資。ハノイの複合開発事業、ホーチミンのサイゴンセンター増床計画本格化。シンガポール高島屋S.C.に並ぶASEAN第2拠点へ成長させる

3. 金融事業推進

カード事業・ライフパートナー事業・投融資事業を充実。グループ全体で推進し、生涯価値（LTV）最大化と新規顧客接点拡大を図る

4. 仕事変革

組織風土改革と働きやすい職場環境整備。DX・AI活用で定型業務自動化と高付加価値サービス提供を推進

③ 対処すべき課題

① グループのシームレス化

- 百貨店と専門店の価値を掛け合わせ、SC全体の魅力向上実現
- 2031年度の各領域事業利益100億円規模目標に向け、シームレス化ロードマップの具体化

② 経営環境リスク対応

- 物価上昇による消費動向の不透明性対応
- 為替・地政学的リスクによるインバウンド需要変動への対応
- 人件費・物流費上昇などの営業費増加を抑制

③ 人材確保と生産性向上

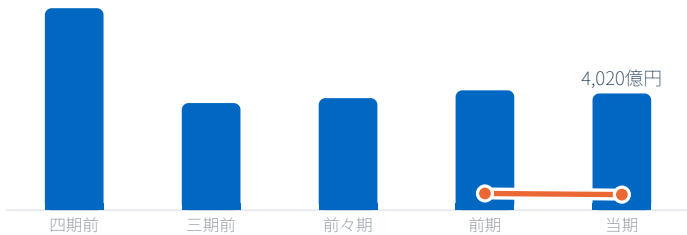
- 労働人口減少・人手不足深刻化への業務DX化対応
- 海外事業での多言語・多文化対応力など幅広い能力を持つ人材育成
- エンゲージメント向上と働きがいの醸成

面接で使えるポイント

- 創業200年の2031年に向けた『グランドデザイン』実現。グループのシームレス化を通じ…
- 玉川高島屋S.C.の2026年1月からの段階的改装など、百貨店と専門店の垣根を越えた新たなまちづくりに注力。
- ESG経営と人的資本経営を重視。『百年のれんプロジェクト』で国内中小企業の伝統・技術を守り…

証券コード 8233

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
4,020億円営業利益率
13.3%財務健康度
31点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 55.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
792万円

小売業内 24位/318社

平均年齢
49.3歳

小売業内 22位/318社

平均勤続
25.3年

小売業内 3位/318社

女性管理職
34.8%

小売業内 24位/250社

男性育休
229.2%

小売業内 3位/193社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考：【大阪高島屋】夏休みは、大阪・なんばでハワイ旅行！「Fres

